

恵庭市地域公共交通活性化協議会

平成21年12月21日設置
平成22年 3月23日連携計画策定



概要

恵庭市では、えにわコミュニティバス(エコバス)・代替バスを運行し、地域の足としての役割を担ってきたものの、マイカーへの依存等の理由から、エコバスの利用者数は頭打ちで、代替バス及び市内路線を運行するジェイ・アール北海道バス路線の利用者数は減少している。また、市内には交通空白地が存在し、自動車を持たない高齢者等の交通手段の確保が課題となっていることからコミュニティバス・路線バスの路線見直し、ダイヤ見直し、デマンド型交通の導入、公共交通の利用促進等により、安全安心に暮らせる集約型都市に貢献する公共交通体系の構築を図る。

コミュニティバス・路線バスの路線見直し(22年度～)

- ・利用者の利便性を高めるため、エコバスとジェイ・アール北海道バスの路線を見直し、一体的な運行ができる実証運行を行う。
- ・エコバス3台とジェイ・アール北海道バス1台の4路線を1路線循環型に統合し、1路線を4台で運行する実証運行を行う。

コミュニティバス・路線バスのダイヤ見直し(22年度～)

- ・利用促進を図るため、利用者にわかりやすい毎時の時刻が固定されるダイヤの設定を行う。
- ・通勤・通学時におけるJR便への結節に配慮するとともに、恵庭駅でのJR千歳線における快速エアポートの結節を考慮したダイヤの導入を図る。
- ・高校生への通学時間に配慮したダイヤの導入を図る。

デマンド型交通の導入(22年度～)

- ・交通空白地域を中心に自宅から主な公共施設、商店、病院等へ送迎を行う乗合タクシー導入に向けた実証運行を行う。

公共交通の利用促進(22年度～)

- ・見やすいバスマップを作成する。
- ・バスや環境に興味が増える交通すろくを作成し、小学生を対象にイベント等で実施する。

